

11 月に入り、朝晩の冷え込みが徐々に強くなってきましたね。温かい飲み物を片手に読書を楽しむのにぴったりな季節です。今回の「図書館でめぐる郷土～八尾市史編～」のテーマは龍華図書館にほど近い高野山真言宗の寺院「大聖勝軍寺」です。その建立は反仏派の蘇我氏と崇仏派の物部氏の仏教をめぐる争い「丁未の乱」に起因します。

シリーズ 図書館でめぐる郷土 ～八尾市史編～

第四十九回 だいしょうしょうぐんじ 『大聖勝軍寺』

太子堂は大聖勝軍寺の通称で奈良街道に南面します。太子の死後に霊廟を守護するために推古天皇によって建てられた叡福寺(河内郡太子町)を上太子と呼ぶのに対して下太子といい、太子の命を受けて蘇我馬子が建立したと伝わる羽曳野市の野中寺(中太子)も加えて河内三太子とも称します。

6 世紀半ばに仏教が日本に伝来し、欽明天皇は新たな宗教である仏教を受け入れるべきかを群臣に問いました。これに対し、物部尾輿は反対し、蘇我稲目は賛成しました。この対立は、ヤマト王権内に「崇仏派」と「廃仏派」という二大勢力を生み出し、後継者である蘇我馬子と物部守屋の代まで続くことになります。

用明2(587)年、崇仏派だった用明天皇の崩御と物部守屋が擁立をもくろんでいた穴穂部皇子の暗殺をきっかけに丁未の乱が起こります。蘇我馬子、聖徳太子(厩戸皇子)らは仏教受容などをめぐって対立していた物部守屋の本拠地である河内国渋川へ攻め込みます。守屋が率いる軍は稲城を築き、榎木の上から弓を放つ守屋に苦戦した皇子らは三度退却。その時に、「軍の後ろに随って」いた 15、6 歳の厩戸皇子は、白膠木を切り取って来て素早く四天王像を作り、それを上にあげて束ねた頭髮に置いて、勝利した暁には必ず護世四天王のために寺塔を建立すると誓い祈りました。舎人の迹見赤檮に命じて放たせた四天王の矢は守屋を射落とす、戦いは蘇我氏の勝利に終わりました。戦いの後、皇子は渋川の地に四天王像を祀るお堂を建立。推古 2(594)年に推古天皇より寺号を与えられて大聖勝軍寺となったと伝えられています。

大聖勝軍寺周辺には、聖徳太子が身を隠したとされる神妙棕、物部守屋の墳墓、守屋の首を洗ったとされる守屋池、守屋を討った矢を埋めた鎬矢塚(鎬矢とは、先端が蕪のようなかたちの飛ぶ際に音をならす特徴を持つ矢)、その矢を放った弓を埋めた弓代塚など、当時の戦いに関連する史跡が点在しています。また、反仏教を主張した物部氏の氏寺とされている渋川廃寺跡があることから、丁未の乱は崇仏派對廃仏派という単純な図式ではなく、古くから皇室を支えてきた物部氏と新たに台頭してきた蘇我氏の権力抗争だという説もあります。

毎年お盆の 2 日間は大聖勝軍寺で「絵灯ろう祭り」と呼ばれる、絵や歌を書き添えた絵灯ろうを本堂や境内に吊るして送り火供養が行われています。蘇我氏と物部氏の戦いの主戦場となり、政権を大きく変えた歴史ある史跡の数々。ぜひ、秋の散策にいかがでしょうか。



【写真】万灯会(大聖勝軍寺)
八尾市観光データベースより

参考資料

『新版八尾市史 古代・中世史料編』2019 年 3 月 八尾市史編集委員会/編
『たずねる・わかる聖徳太子』2020 年 10 月 古谷正寛/ほか著 淡交社
『大阪のトリセツなにわおもしろ学』2020 年 11 月 昭文社
八尾市観光データベース <http://www.yaomania.jp/data/InfoDetail.asp?id=836>

『新版八尾市史 通史編 1』2023 年 3 月 八尾市史編集委員会/編
『新版八尾市史 建造物編』2023 年 3 月 八尾市史編集委員会/編

(2025 年 9 月 11 日確認)

11月のTopics & Information



-Topics

複写サービス



八尾市内の図書館では、調査研究の目的に限り、図書館が所蔵している資料をコピー（複写）することができます。

（有料：白黒10円/カラー50円）

※カラーコピーは龍華図書館のみ。

また龍華図書館はセルフコピーです。

「複写申込書」に必要事項をご記入のうえ、コピーしたい資料と一緒にカウンターまでお持ちください。

但し、同じ箇所を2部コピーすることはできません。著作権法の範囲内でのコピーが可能ですので、詳しくはスタッフまでお尋ねください。

【コピーできる範囲の一部例】

図書：本文の半分まで。目次についてはその全部。

「はしがき」「解説」があればそれぞれその半分まで。

地図：ゼンリン地図→見開きの半分まで。（上下左右）

1枚もの→1枚の地図の半分以下。

国土地理院発行地図→全面複写可。

付録（型紙など）：個々の付録の2分の1以下。

いずれは返却しなければならない図書館の資料ですが、調べものに必要で、「肝心なこの部分だけを手元に置いておきたい！」というときに便利です。是非、ご利用ください。

-Information イベントのご案内 八尾の歴史講座

八尾歴史民俗資料館より学芸員の方をお招きし
「龍華地域の古代史～聖徳太子と物部守屋～」を
テーマにお話いただきます。

●日時…2025年11月23日（日・祝）
13:30～15:00

●場所…龍華コミセン 3階 集会室

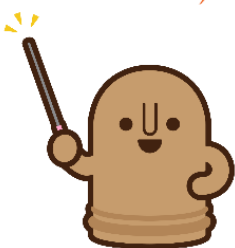
●対象…18歳以上

●定員…30名（申込順）

●申込…2025年11月9日（日）9:00～

龍華図書館カウンター、電話、FAXにて受付。

八尾の歴史講座
「龍華地域の古代史～聖徳太子と物部守屋～」
講師：八尾市立歴史民俗資料館 学芸員 中納雅司氏
2025年 11月23日（日・祝）
13:30～15:00
場所：龍華コミセン 3階 集会室 1～3
対象：18歳以上
定員 30名（申込順）
11/9（日）9:00～
龍華図書館カウンター・TEL・FAX
にて受付開始
主催：問い合わせ 八尾市立龍華図書館 TEL 922-8007 FAX 922-7057
協力：八尾市立歴史民俗資料館



今月の一冊はコレ！



「じわじわくる文具」

（資料コード：710751454）

著者：松岡 厚志／出版者：玄光社

「何に使うんだろう？」「見た感じは普通かも」と写真を見ただけではわからない「スゴイ機能」が付いた文具が全部で37個紹介されています。削らなくてもいい鉛筆（ちゃんと消しゴムで消えます。）やどんなに紙を挟んでも変形しないゼムクリップなど、その着眼点や発想力に驚かされる商品ばかりです。読み終わるころには、いくつか欲しくなってしまうかもしれません。一生ものの一点を見つけてみてはいかがでしょうか。【表紙画像】出版書誌データベースより

編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね！してください。

